

十和田市福祉に関する
アンケート調査報告書

令和5年11月
十和田市

— 目 次 —

調 査 概 要	1
調 査 結 果	3
あなた（宛名の方）の性別・年齢・ご家族などについて	3
あなたの障がいの状況について	6
住まいや暮らしについて	9
日中活動や就労について	11
相談相手について	15
障害福祉サービス等の利用について	16
権利擁護について	21
災害時の避難等について	22
障害福祉施策等について	24
調 査 総 括	26

調査概要

調査の目的

「十和田市第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画」策定の基礎資料として、市民の皆さまの福祉サービスの利用実態や福祉に関する意識、意向などを把握することを目的として実施しました。

調査対象者

十和田市在住の「身体障害者手帳所持者」、「愛護(療育)手帳所持者」、「精神障害者手帳所持者」をお持ちの方

調査方法

郵送による配布・回収調査

調査期間

令和5年9月

回収状況

調査対象者数	回収数	回収率
1,000	460	46.0%

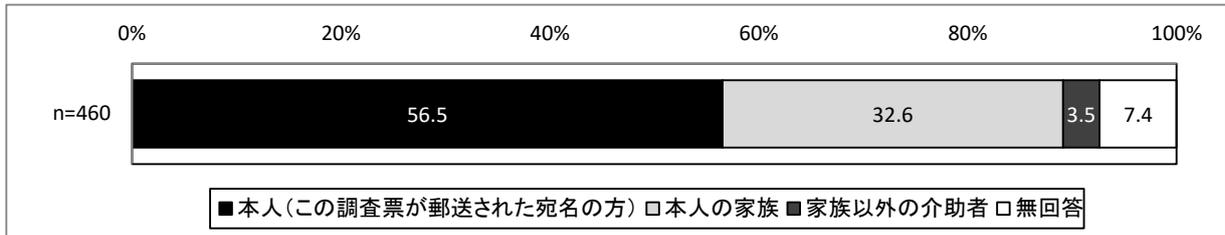
報告書利用上の注意

- 端数処理の関係上、構成比(%)の計が100%とならないことがあります。
- 図表の構成比(%)は小数第2位以下を四捨五入したものです。
- 複数回答の設問は、すべての構成比(%)を合計すると100%を超える場合があります。
- 図中の”n=”は、各設問の対象者数を表しています。

調査結果

問1 お答えいただくのは、どなたですか。

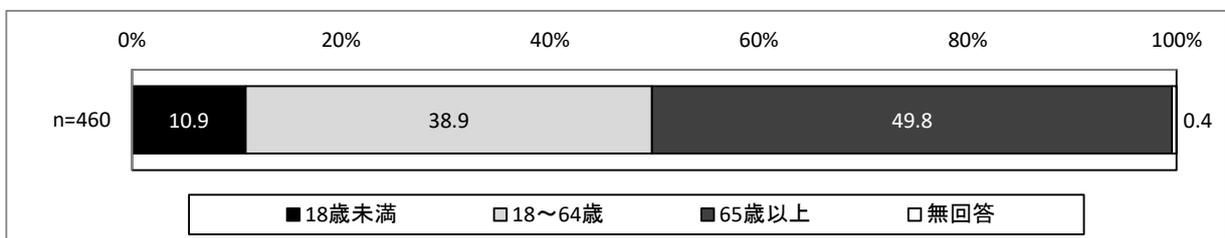
「本人（この調査票が郵送された宛名の方）」が56.5%で最も多く、次いで「本人の家族」32.6%、「家族以外の介助者」3.5%の順となっています。



あなた（宛名の方）の性別・年齢・ご家族などについて

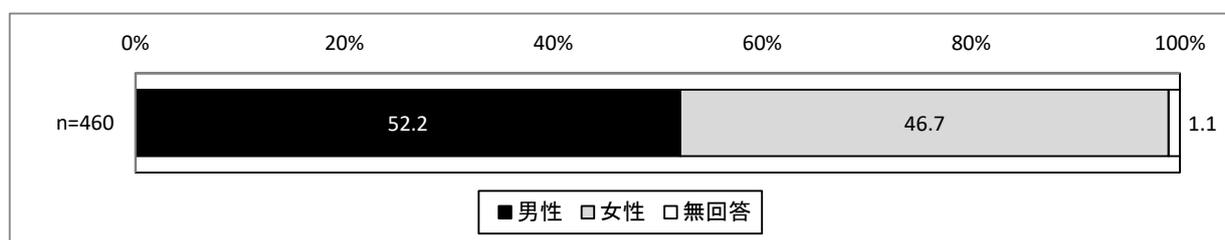
問2 あなたの年齢を教えてください。（令和5年9月1日現在）

「65歳以上」が49.8%で最も多く、次いで「18～64歳」38.9%、「18歳未満」10.9%の順となっています。



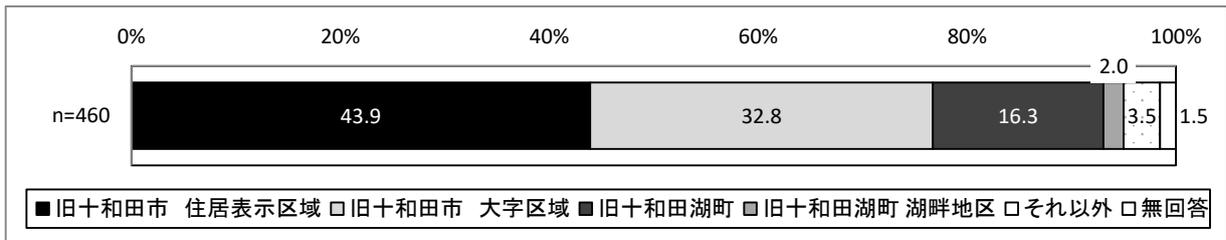
問3 あなたの性別をお答えください。

「男性」が52.2%、「女性」が46.7%となっています。



問4 あなたがお住まいの地域はどこですか。

「旧十和田市 住居表示区域」が43.9%で最も多く、次いで「旧十和田市 大字区域」32.8%、「旧十和田湖町」16.3%の順となっています。

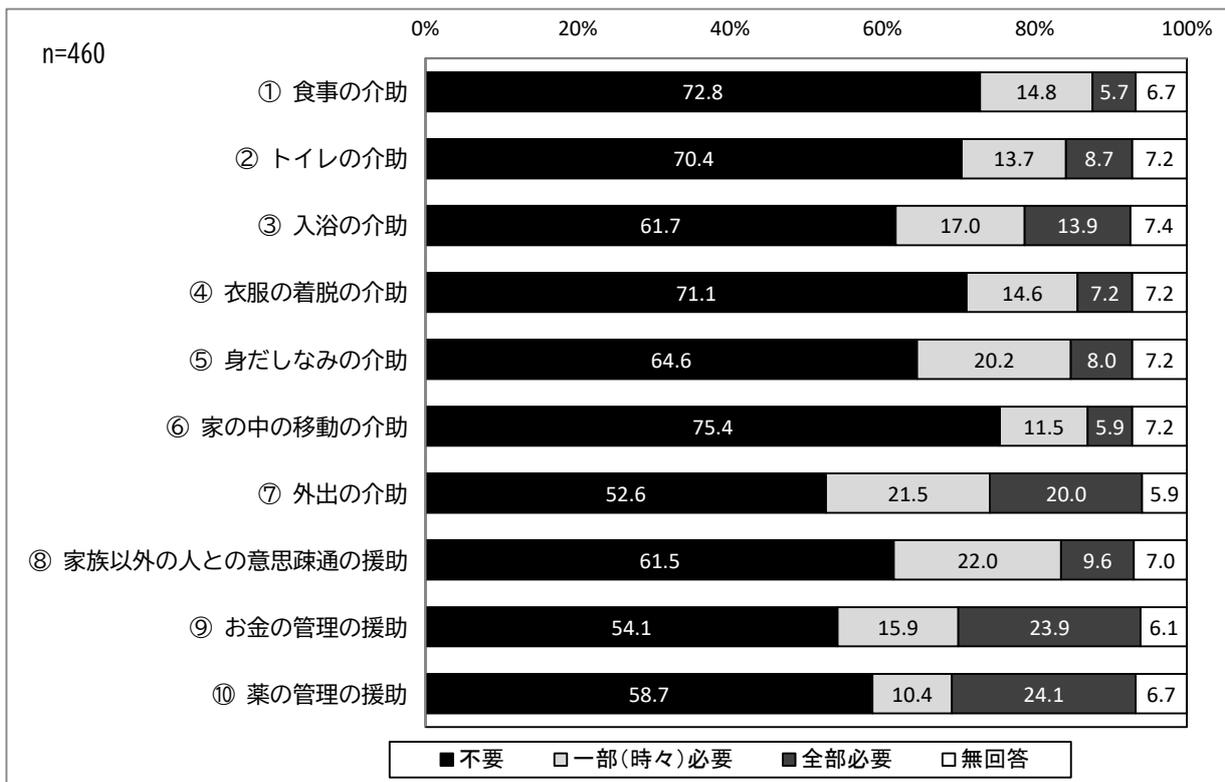


問5 いま、あなたと一緒に暮らしている人は、どなたですか。（複数回答）

「配偶者（夫または妻）」が34.6%で最も多く、次いで「父母・祖父母・兄弟姉妹」33.5%、「いない」22.4%の順となっています。



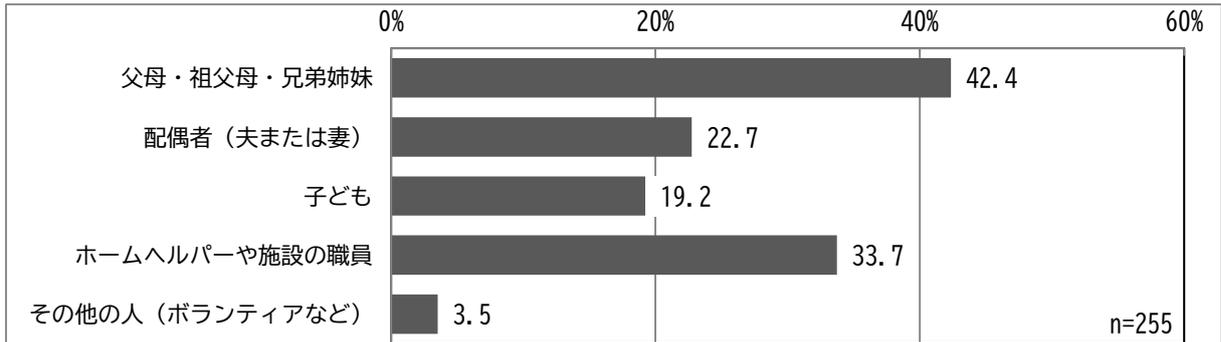
問6 日常生活の中で、次の支援が必要ですか。①から⑩のそれぞれにお答えください。



問6で「一部（時々）必要」又は「全部必要」と答えた方がお答えください。

問7 あなたを支援してくれる方は主に誰ですか。（複数回答）

「父母・祖父母・兄弟姉妹」が42.4%で最も多く、次いで「ホームヘルパーや施設の職員」33.7%、「配偶者（夫または妻）」22.7%の順となっています。

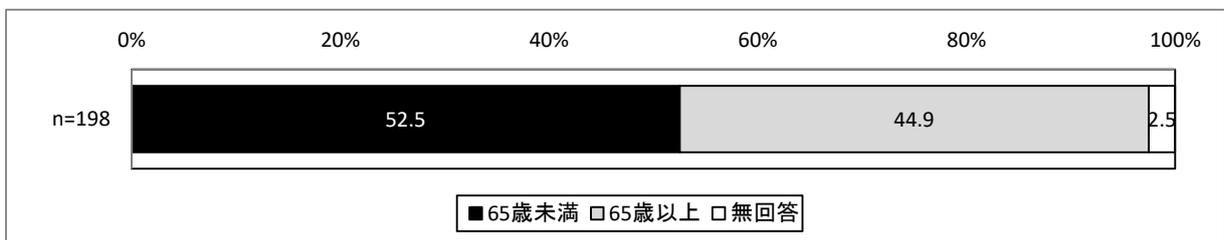


問7で1.～3. を答えた方がお答えください

問8 あなたを支援してくれる家族で、主な方の年齢、性別、健康状態をお答えください。

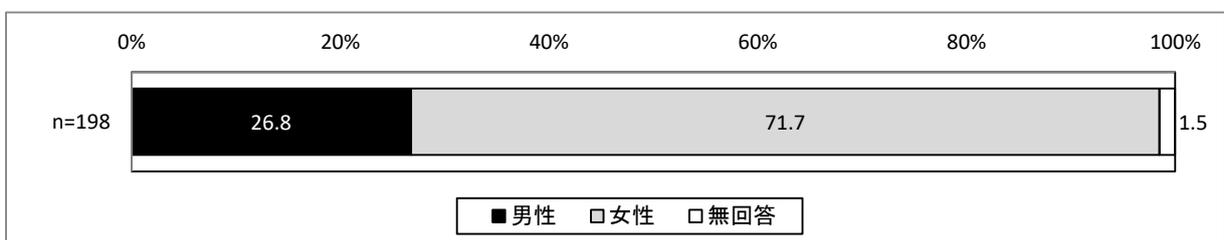
①年齢（令和5年9月1日現在）

「65歳未満」が52.5%、「65歳以上」が44.9%となっています。



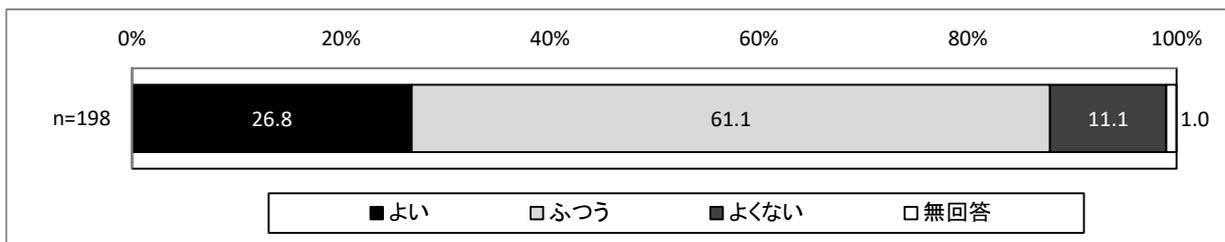
②性別

「男性」が26.8%、「女性」が71.7%となっています。



③健康状態

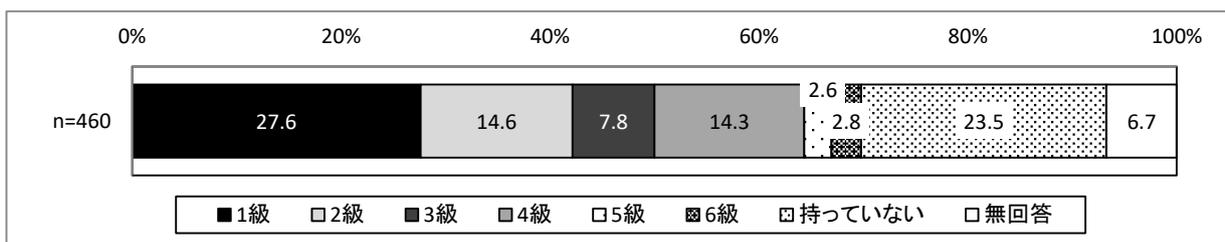
「ふつう」が61.1%で最も多く、次いで「よい」26.8%、「よくない」11.1%の順となっています。



あなたの障害の状況について

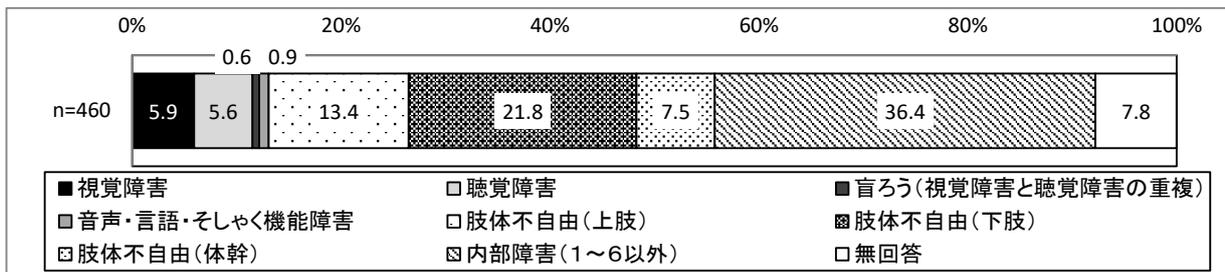
問9 あなたは身体障害者手帳をお持ちですか。

「1級」が27.6%で最も多く、次いで「持っていない」23.5%、「2級」14.6%の順となっています。



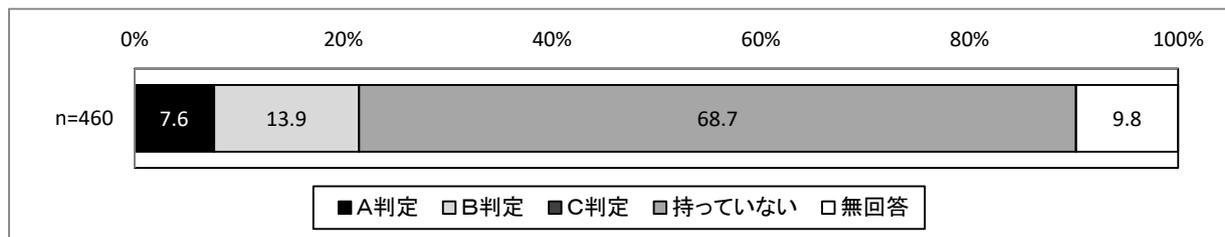
問10 身体障害者手帳をお持ちの場合、主たる障がいをお答えください。

「内部障害（1～6以外）」が36.4%で最も多く、次いで「肢体不自由（下肢）」21.8%、「肢体不自由（上肢）」13.4%の順となっています。



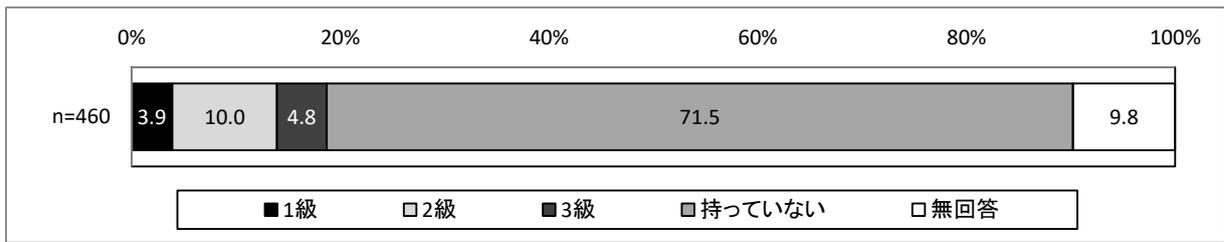
問11 あなたは愛護（療育）手帳をお持ちですか。

「持っていない」が68.7%で最も多く、次いで「B判定」13.9%、「A判定」7.6%の順となっています。



問12 あなたは精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。

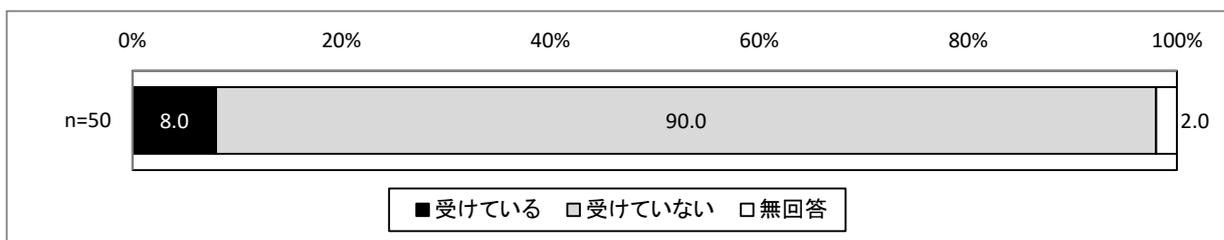
「持っていない」が71.5%で最も多く、次いで「2級」10.0%、「3級」4.8%の順となっています。



18歳未満の方のみお答えください。

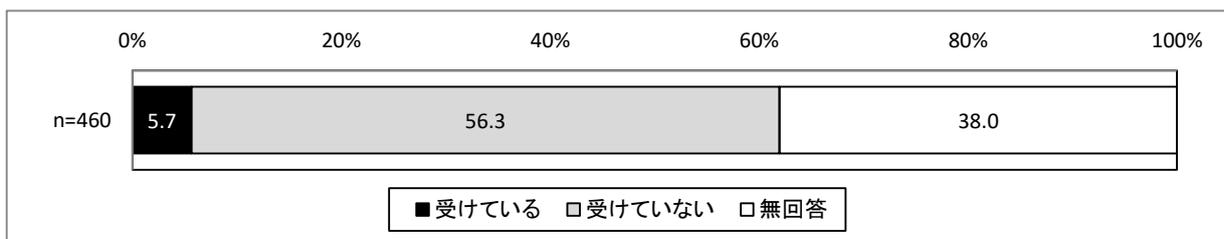
問13 あなたは重症心身障害の認定を受けていますか。

「受けている」が8.0%、「受けていない」が90.0%となっています。



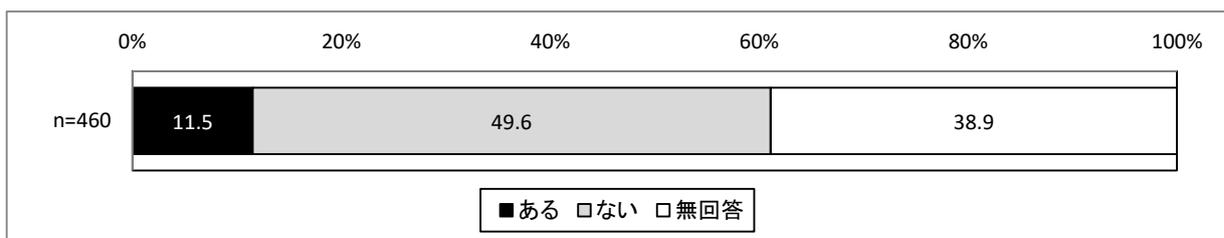
問14 あなたは難病（指定難病）の認定を受けていますか。

「受けている」が5.7%、「受けていない」が56.3%となっています。



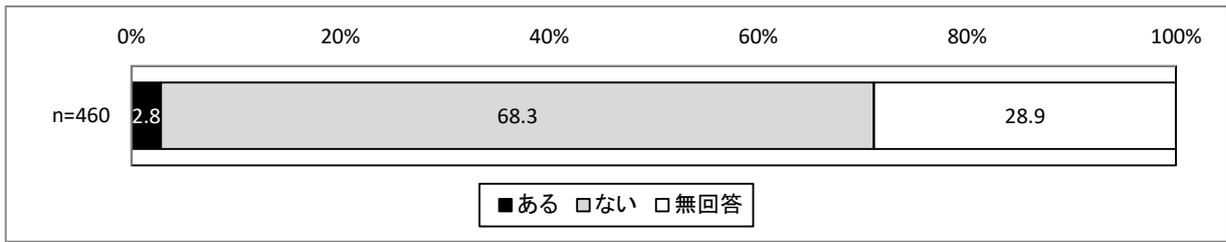
問15 あなたは発達障害として診断されたことがありますか。

「ある」が11.5%、「ない」が49.6%となっています。



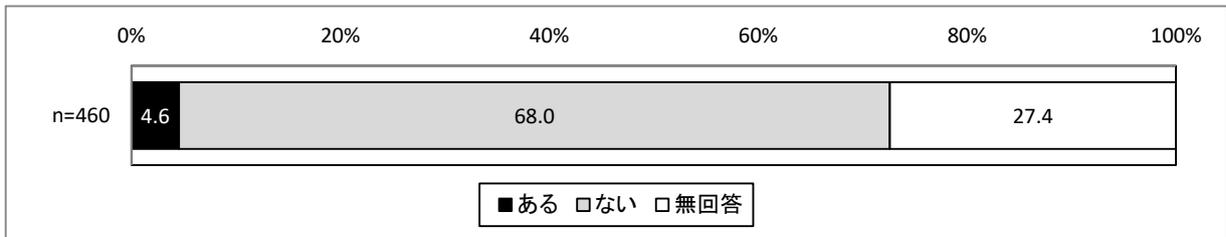
問16 あなたは強度行動障害があると言われたことはありますか。

「ある」が2.8%、「ない」が68.3%となっています。



問17 あなたは高次脳機能障害として診断されたことがありますか。

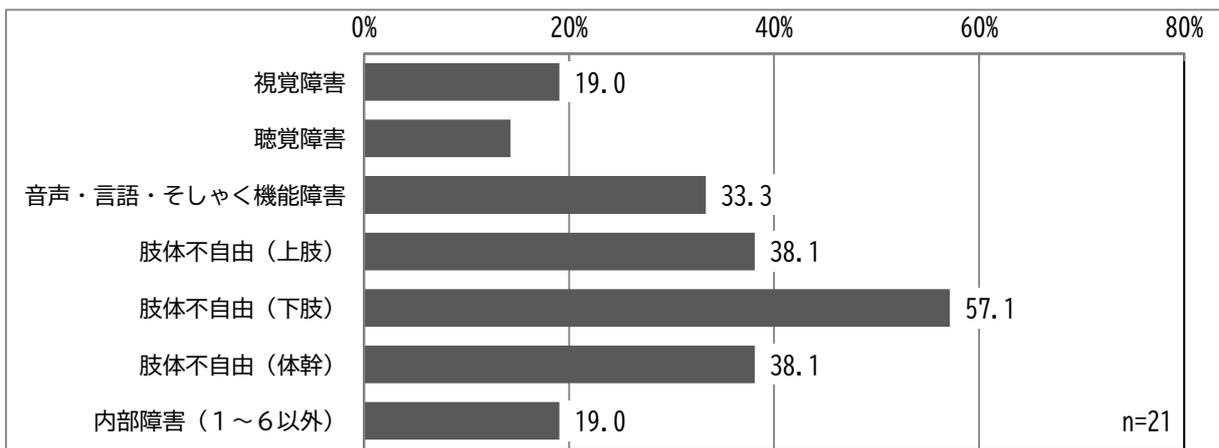
「ある」が4.6%、「ない」が68.0%となっています。



問17で「ある」を選択された方がお答えください。

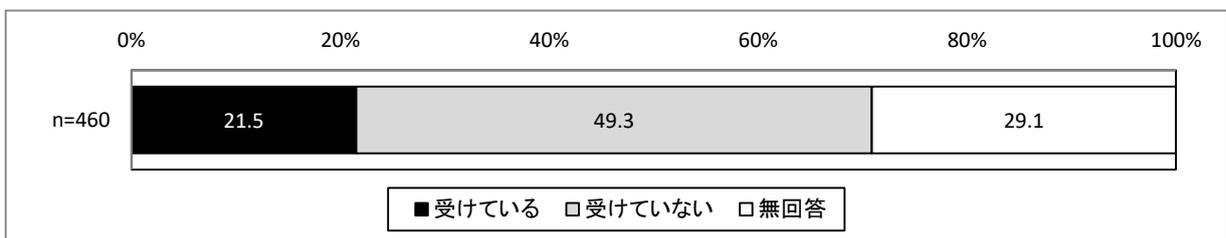
問18 その関連障がいをお答えください。（複数回答）

「肢体不自由（下肢）」が57.1%で最も多く、次いで「肢体不自由（上肢）」「肢体不自由（体幹）」38.1%、「音声・言語・そしゃく機能障害」33.3%の順となっています。



問19 あなたは現在医療的ケアを受けていますか。

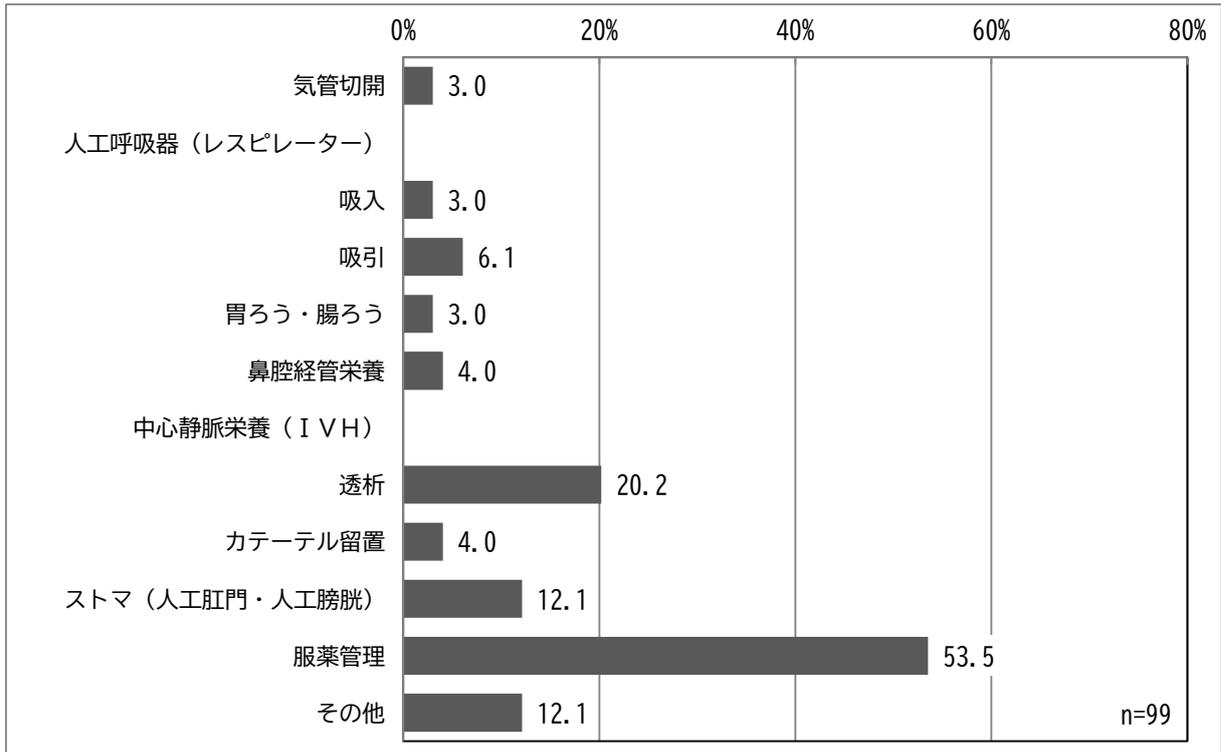
「受けている」が21.5%、「受けていない」が49.3%となっています。



問19で「受けている」を選択された方がお答えください。

問20 あなたが現在受けている医療的ケアをご回答ください。（複数回答）

「服薬管理」が53.5%で最も多く、次いで「透析」20.2%、「ストマ（人工肛門・人工膀胱）」「その他」12.1%の順となっています。

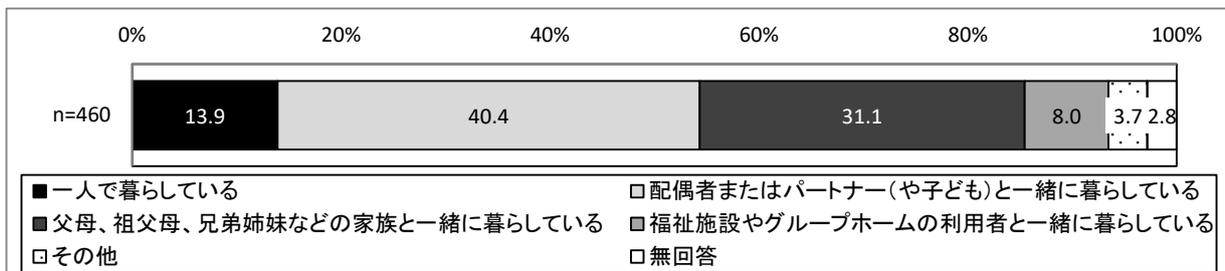


住まいや暮らしについて

問21 あなたは現在どのように暮らしていますか。

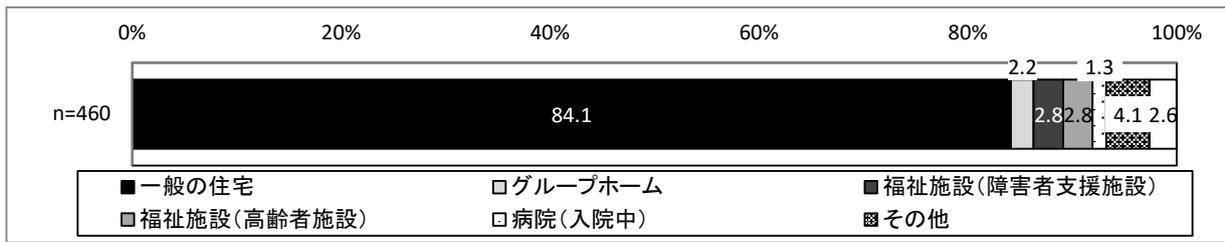
(1) 一緒に暮らしている人の有無

「配偶者またはパートナー（や子ども）と一緒に暮らしている」が40.4%で最も多く、次いで「父母、祖父母、兄弟姉妹などの家族と一緒に暮らしている」31.1%、「一人で暮らしている」13.9%の順となっています。



(2) 暮らしている場所

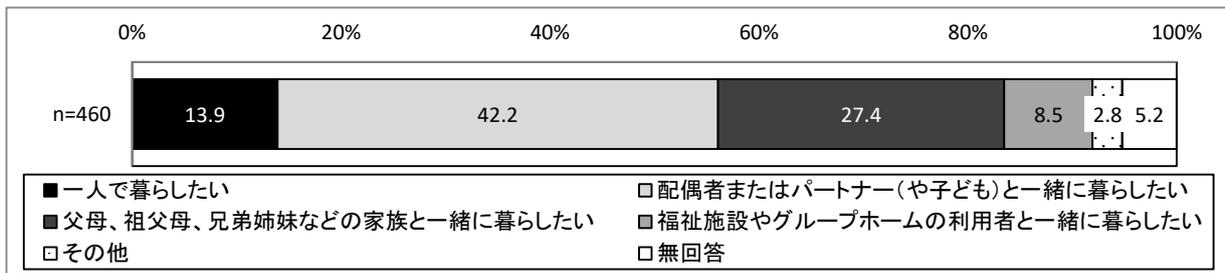
「一般の住宅」が84.1%で最も多く、次いで「その他」4.1%、「福祉施設（障害者支援施設）」「福祉施設（高齢者施設）」2.8%の順となっています。



問22 あなたは今後3年以内にどのような暮らしをしたいと思いますか。

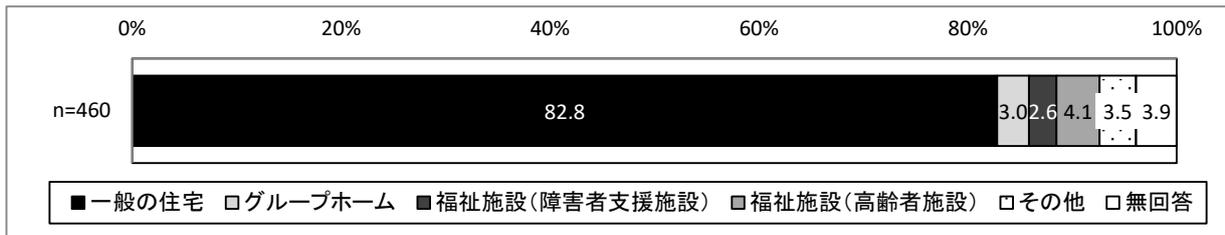
(1) 一緒に暮らしたい人の有無

「配偶者またはパートナー（や子ども）と一緒に暮らしたい」が42.2%で最も多く、次いで「父母、祖父母、兄弟姉妹などの家族と一緒に暮らしたい」27.4%、「一人で暮らしたい」13.9%の順となっています。



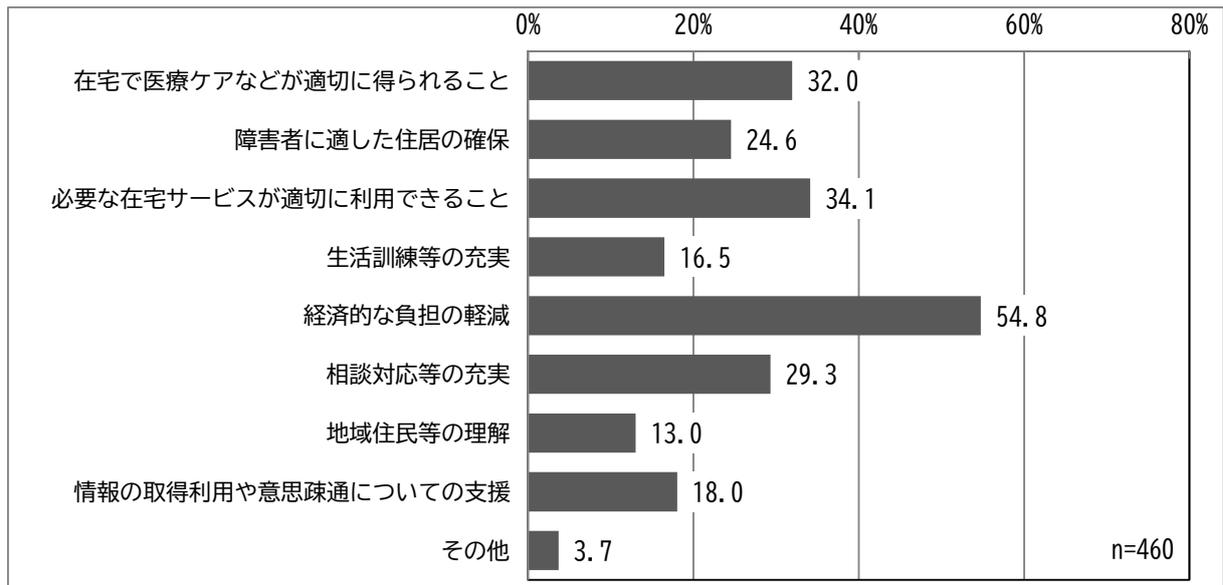
(2) 暮らしたい場所

「一般の住宅」が82.8%で最も多く、次いで「福祉施設（高齢者施設）」4.1%、「その他」3.5%の順となっています。



問23 希望する暮らしを送るためには、どのような支援があればよいと思いますか。（複数回答）

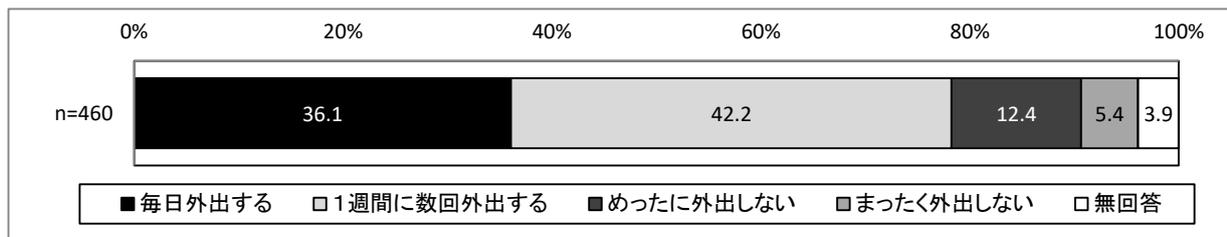
「経済的な負担の軽減」が54.8%で最も多く、次いで「必要な在宅サービスが適切に利用できること」34.1%、「在宅で医療ケアなどが適切に得られること」32.0%の順となっています。



日中活動や就労について

問24 あなたは、1週間にどの程度外出しますか。

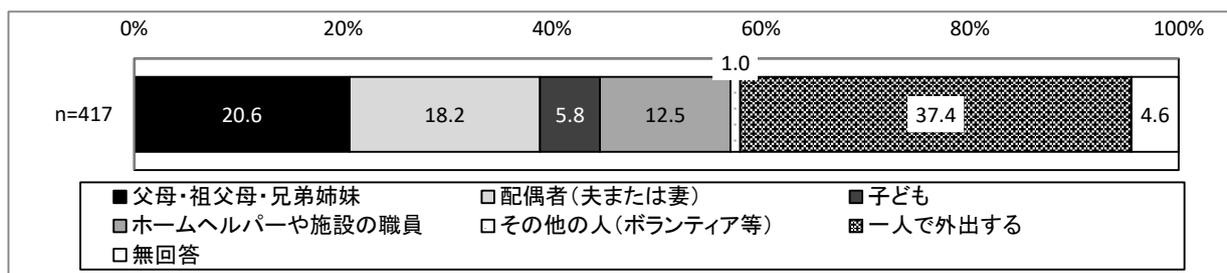
「1週間に数回外出する」が42.2%で最も多く、次いで「毎日外出する」36.1%、「めったに外出しない」12.4%の順となっています。



問25から問27は、問24で、4. 以外を選択した方がお答えください。

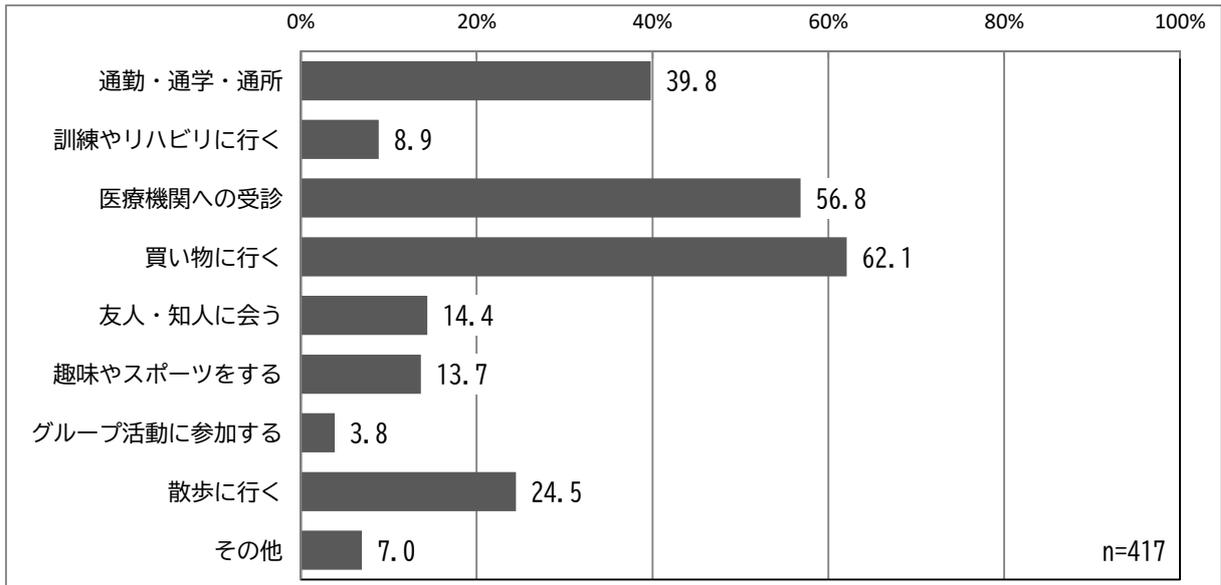
問25 あなたが外出する際の主な同伴者は誰ですか。

「一人で外出する」が37.4%で最も多く、次いで「父母・祖父母・兄弟姉妹」20.6%、「配偶者（夫または妻）」18.2%の順となっています。



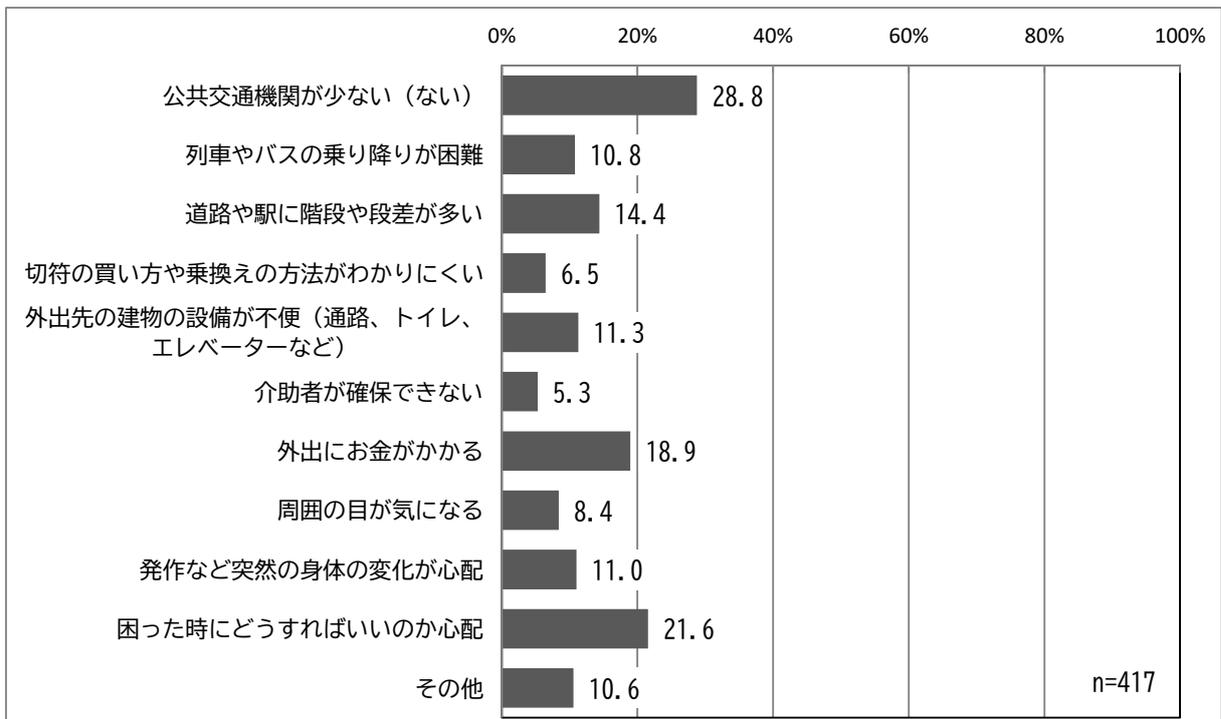
問26 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。（複数回答）

「買い物に行く」が62.1%で最も多く、次いで「医療機関への受診」56.8%、「通勤・通学・通所」39.8%の順となっています。



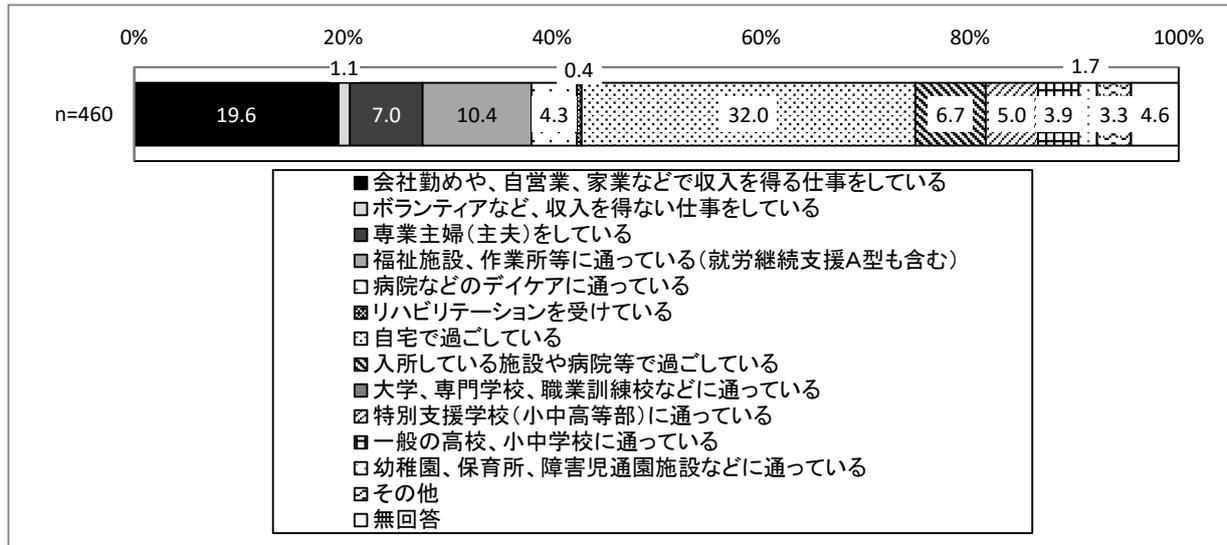
問27 外出する時に困ることは何ですか。（複数回答）

「公共交通機関が少ない（ない）」が28.8%で最も多く、次いで「困った時にどうすればいいの心配」21.6%、「外出にお金がかかる」18.9%の順となっています。



問28 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。

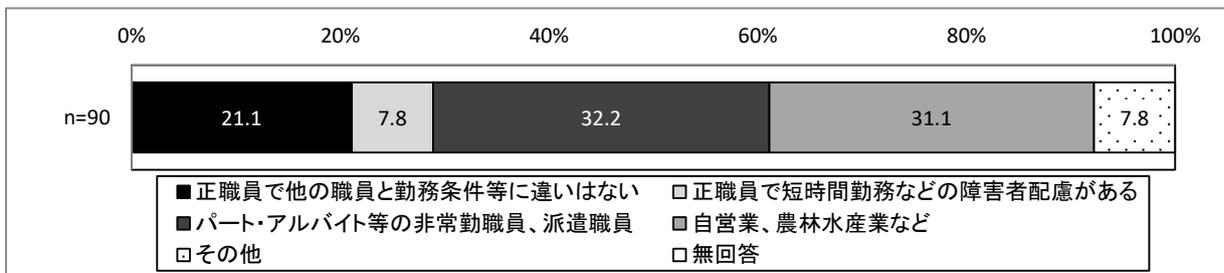
「自宅で過ごしている」が32.0%で最も多く、次いで「会社勤めや、自営業、家業などで収入を得る仕事をしている」19.6%、「福祉施設、作業所等に通っている（就労継続支援A型も含む）」10.4%の順となっています。



問29は、問28で1.を選択した場合にお答えください。

問29 どのような勤務形態で働いていますか。

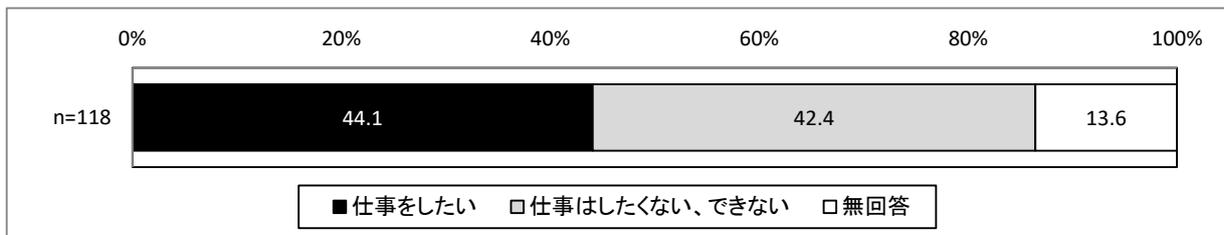
「パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員」が32.2%で最も多く、次いで「自営業、農林水産業など」31.1%、「正職員で他の職員と勤務条件等に違いはない」21.1%の順となっています。



問30は、問28で1.以外を選択した18~64歳の方がお答えください。

問30 あなたは今後、収入を得る仕事をしたいと思いますか。

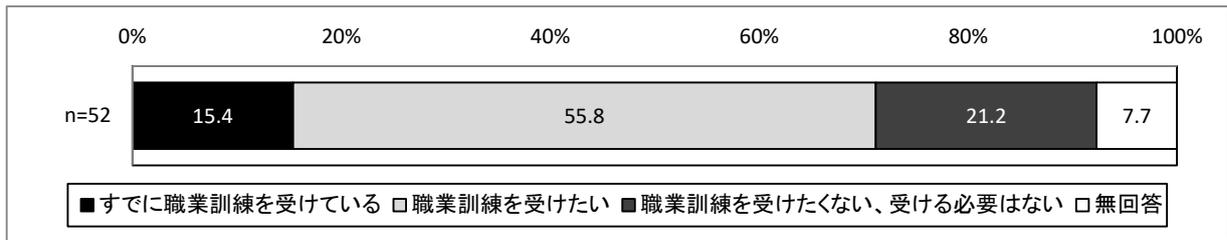
「仕事をしたい」が44.1%、「仕事はしたくない、できない」が42.4%となっています。



問31は、問30で1. を選択した方がお答えください。

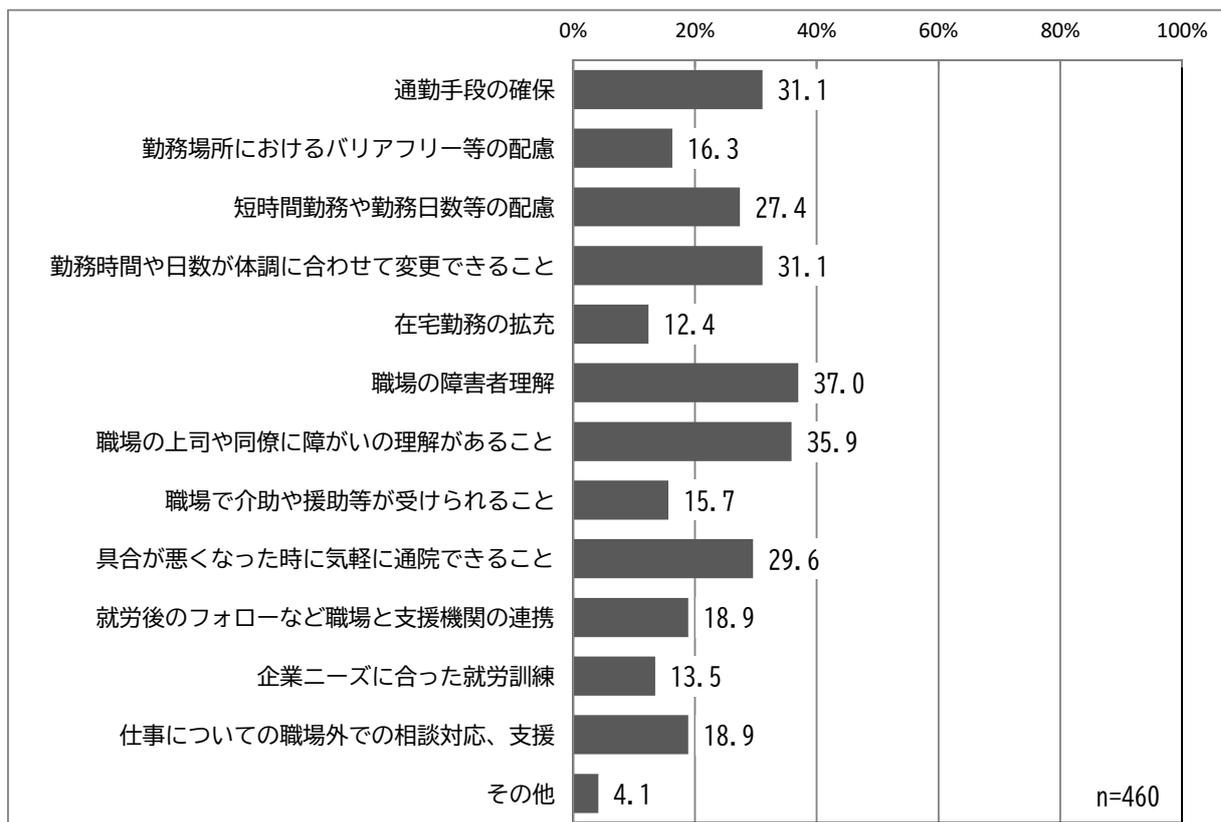
問31 収入を得る仕事を得るために、職業訓練などを受けたいと思いますか。

「職業訓練を受けたい」が55.8%で最も多く、次いで「職業訓練を受けたくない、受ける必要はない」21.2%、「すでに職業訓練を受けている」15.4%の順となっています。



問32 あなたは、障害者の就労支援として、どのようなことが必要だと思いますか。（複数回答）

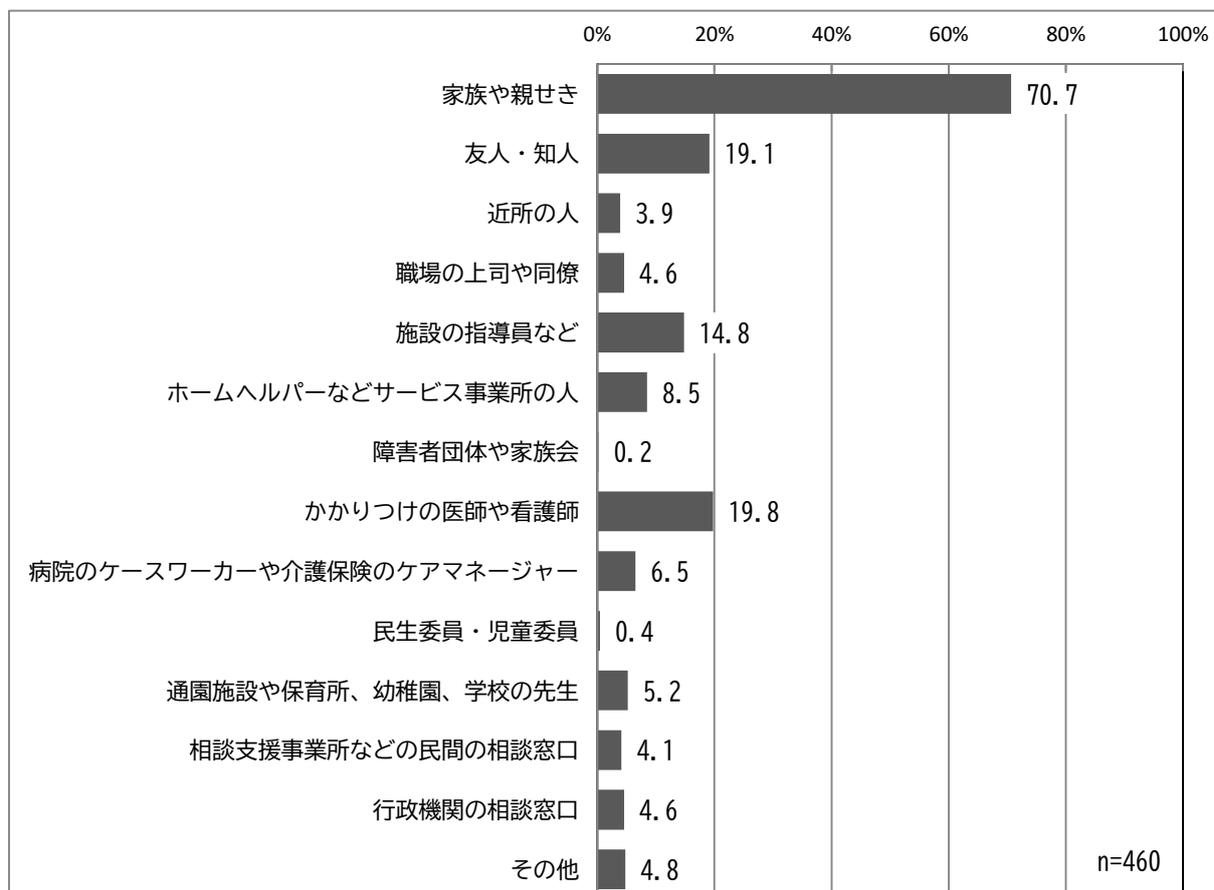
「職場の障害者理解」が37.0%で最も多く、次いで「職場の上司や同僚に障がいの理解があること」35.9%、「通勤手段の確保」「勤務時間や日数が体調に合わせて変更できること」31.1%の順となっています。



相談相手について

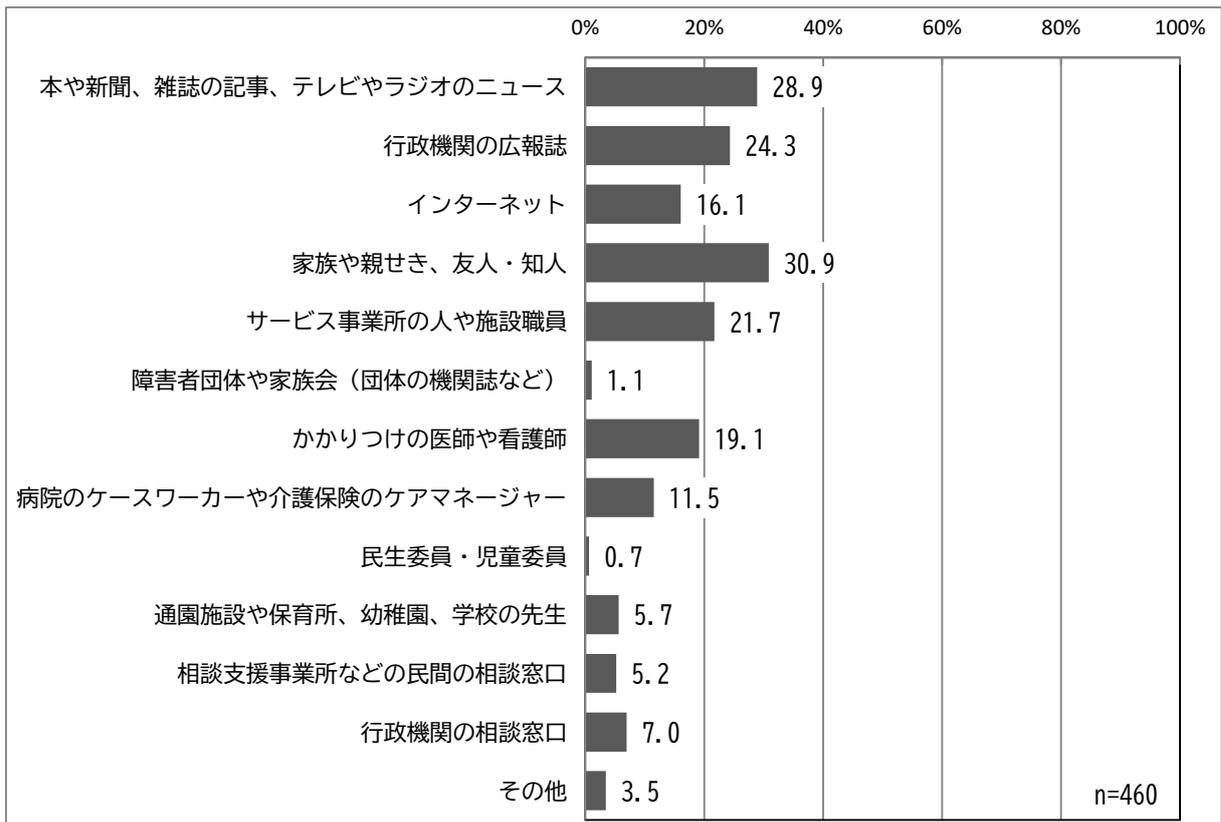
問33 あなたは、普段、悩みや困ったことをどなたに相談しますか。（複数回答）

「家族や親せき」が70.7%で最も多く、次いで「かかりつけの医師や看護師」19.8%、「友人・知人」19.1%の順となっています。



問34 あなたは障がいのことや福祉サービスなどに関する情報を、どこから知ることが多いですか。（複数回答）

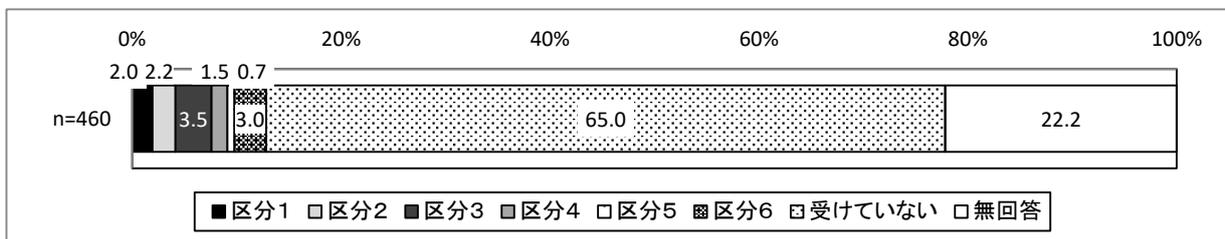
「家族や親せき、友人・知人」が30.9%で最も多く、次いで「本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース」28.9%、「行政機関の広報誌」24.3%の順となっています。



障害福祉サービス等の利用について

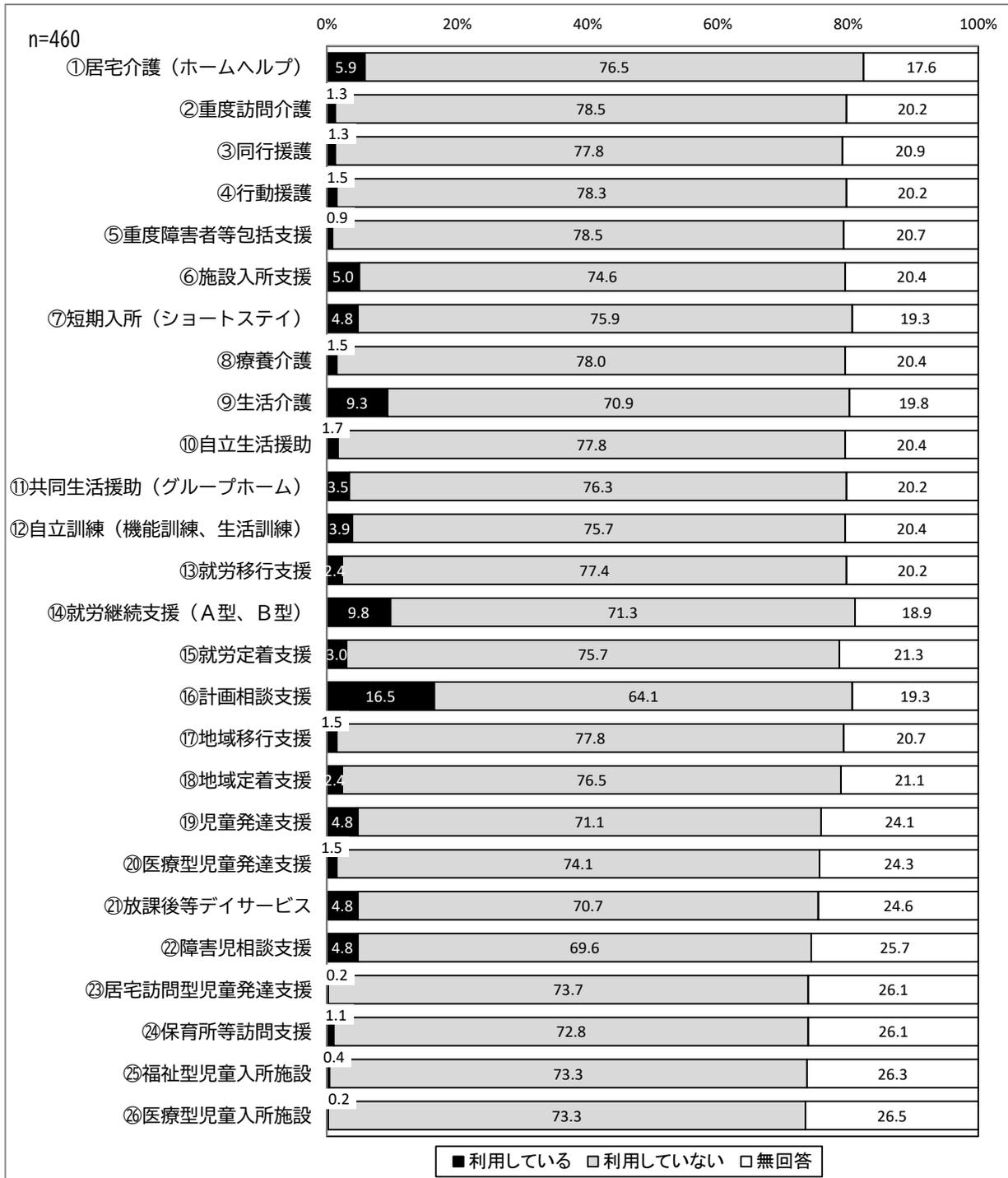
問35 あなたは障害支援区分の認定を受けていますか。

「受けていない」が65.0%で最も多く、次いで「区分3」3.5%、「区分6」3.0%の順となっています。

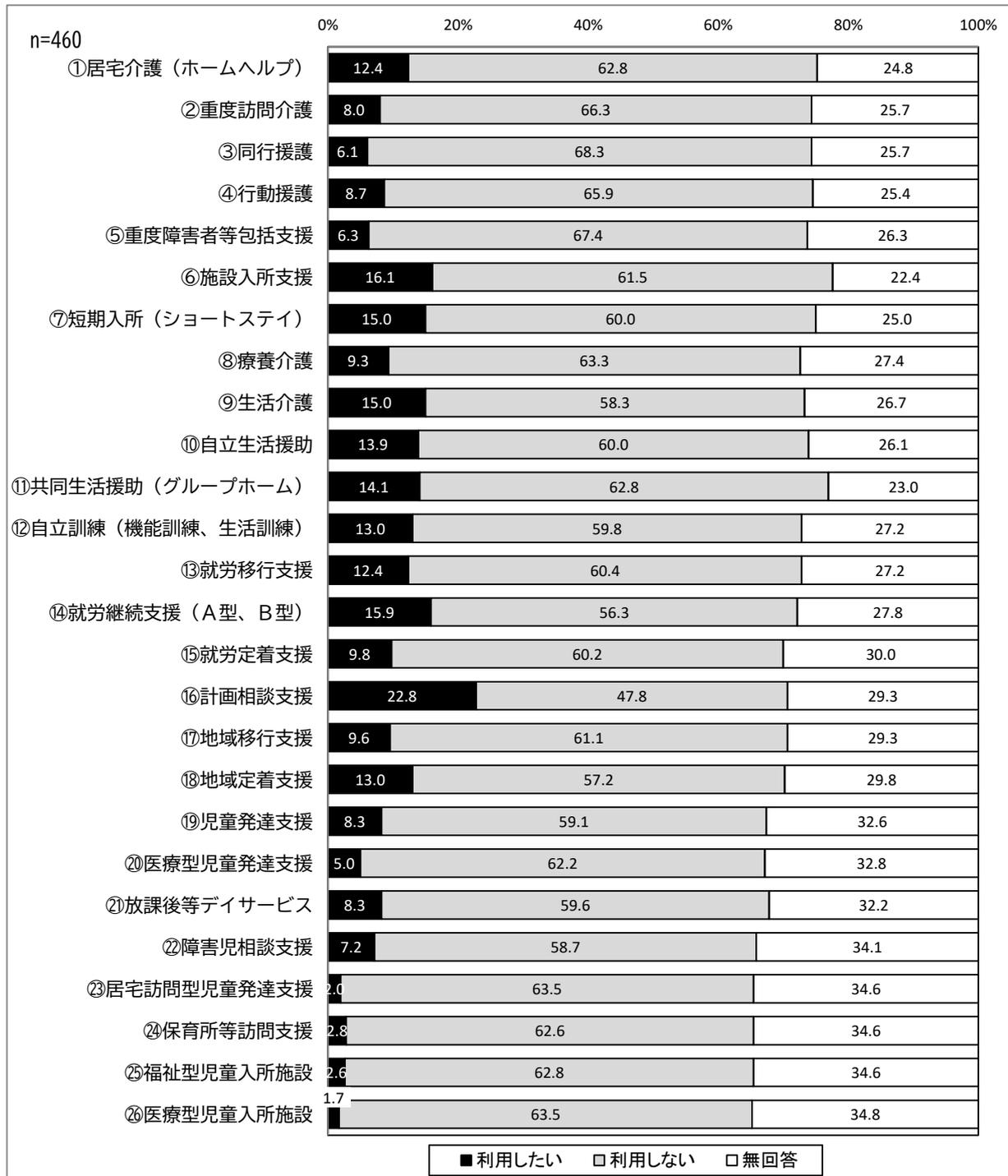


問36 あなたは次のサービスを利用していますか。また、今後利用したいと考えますか。

現在の利用状況



今後3年間の利用希望

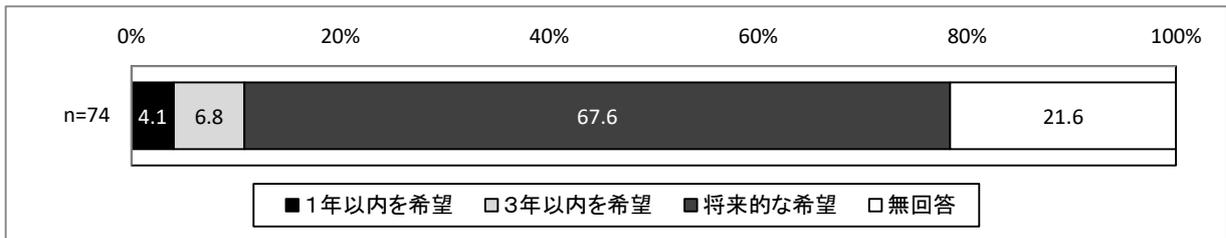


問36-1は、問36の「⑥施設入所支援」または「⑪共同生活援助」の今後3年間の利用希望(きぼう)において「1. 利用したい」を選択した方にお聞きします。

問36-1 利用を希望する時期はいつですか。

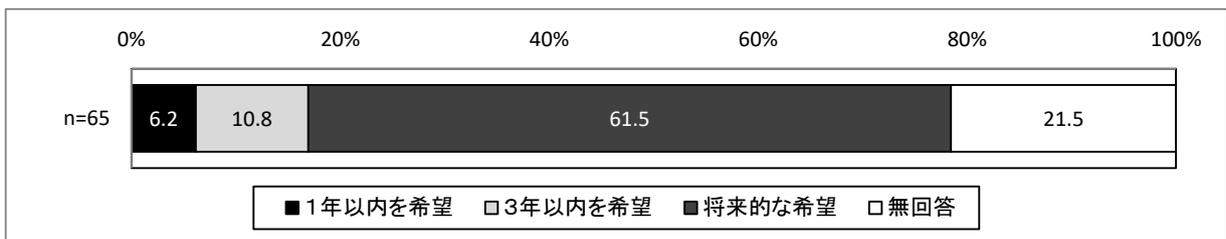
「⑥施設入所支援」

「将来的な希望」が67.6%で最も多く、次いで「3年以内を希望」6.8%、「1年以内を希望」4.1%の順となっています。



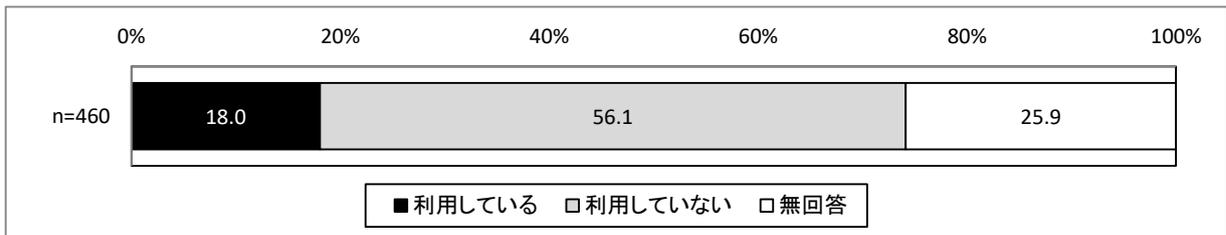
「⑪共同生活援助」

「将来的な希望」が61.5%で最も多く、次いで「3年以内を希望」10.8%、「1年以内を希望」6.2%の順となっています。



問37 あなたは介護保険によるサービスを利用していますか。

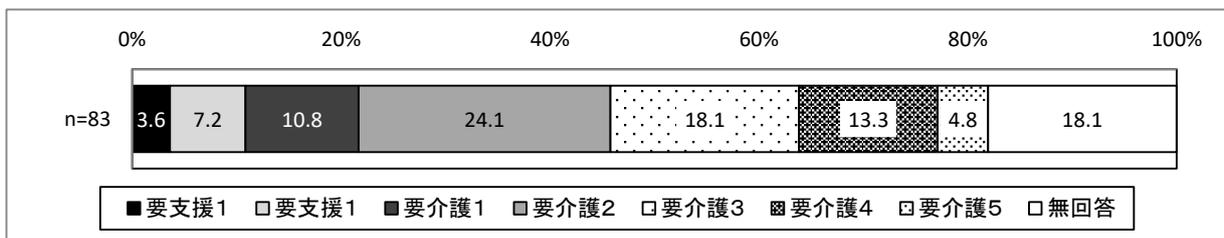
「利用している」が18.0%、「利用していない」が56.1%となっています。



問38、39は、問37「1. 利用している」を選択した方にお聞きします。

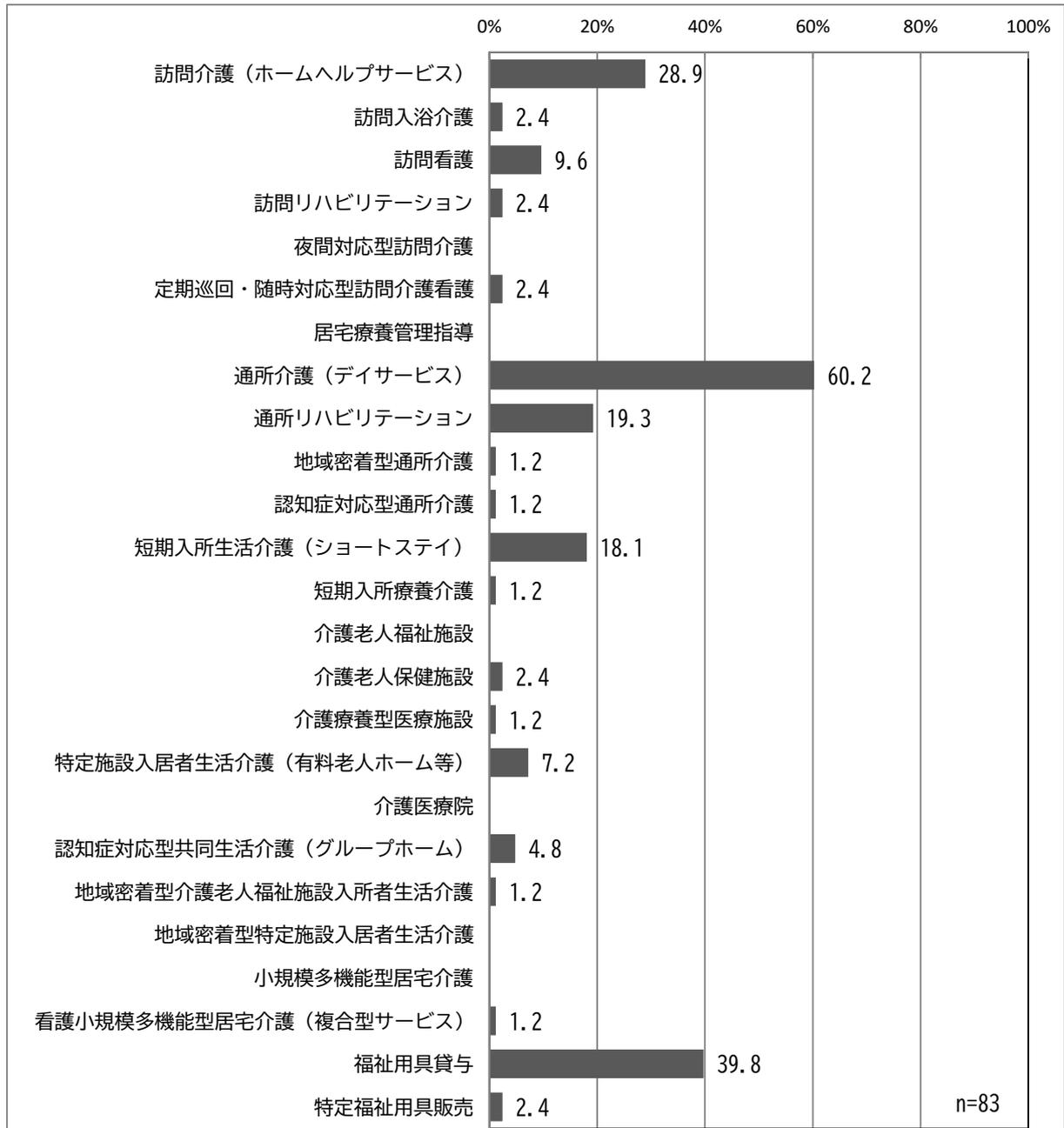
問38 該当する要介護度はどれですか。

「要介護2」が24.1%で最も多く、次いで「要介護3」18.1%、「要介護4」13.3%の順となっています。



問39 利用している介護保険サービスはどれですか。（複数回答）

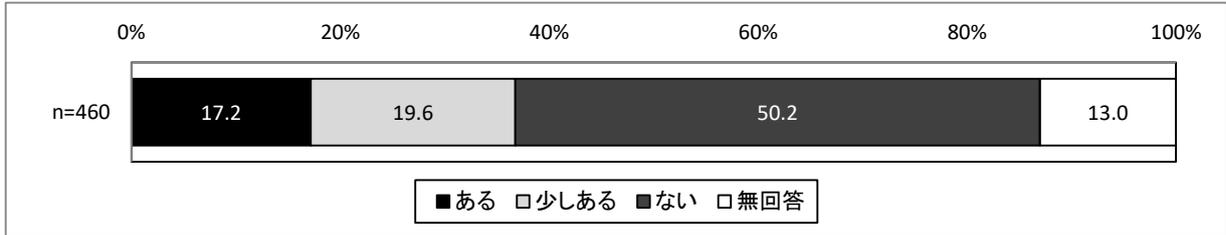
「通所介護（デイサービス）」が60.2%で最も多く、次いで「福祉用具貸与」39.8%、「訪問介護（ホームヘルプサービス）」28.9%の順となっています。



権利擁護について

問40 あなたは、障がいがあることで差別や嫌な思いをする（した）ことがありますか。

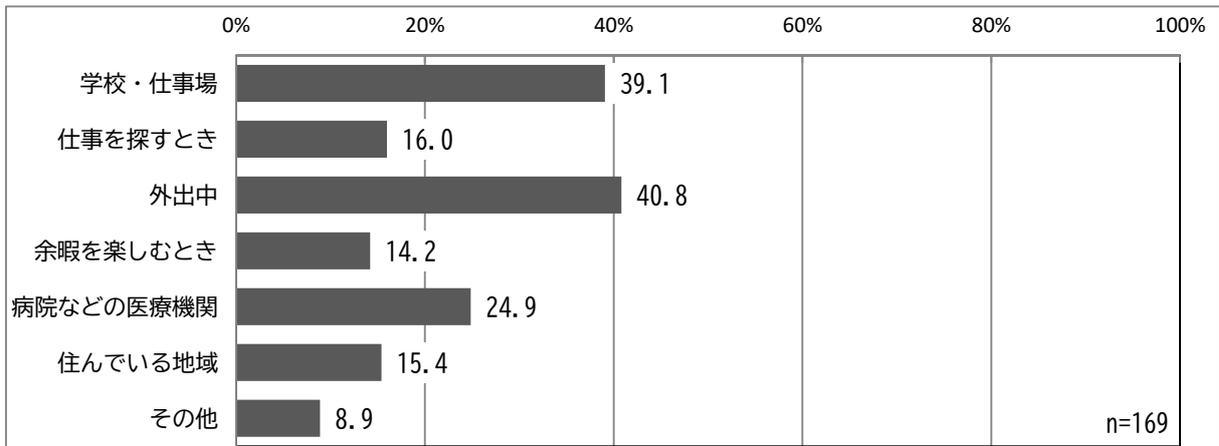
「ない」が50.2%で最も多く、次いで「少しある」19.6%、「ある」17.2%の順となっています。



問40で、1. 又は2. と回答された方にお聞きします。

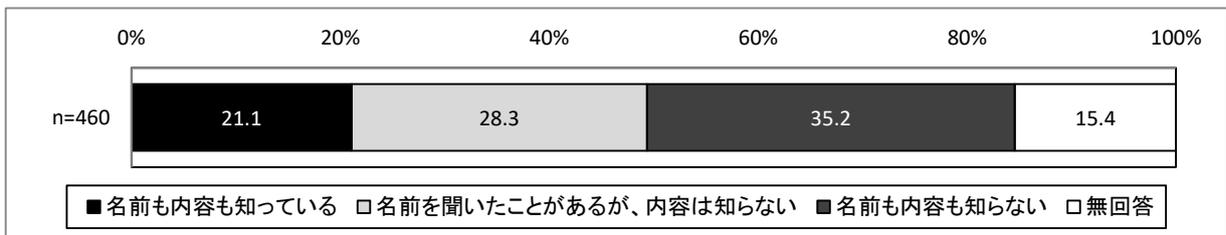
問41 どのような場所で差別や嫌な思いをしましたか。（複数回答）

「外出中」が40.8%で最も多く、次いで「学校・仕事場」39.1%、「病院などの医療機関」24.9%の順となっています。



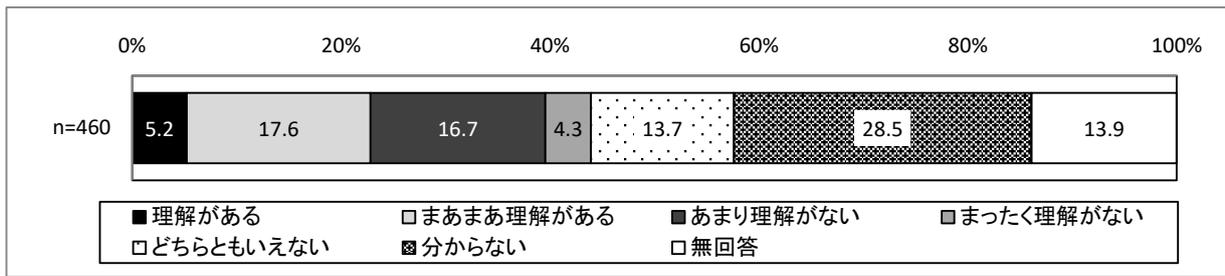
問42 成年後見制度についてご存じですか。

「名前も内容も知らない」が35.2%で最も多く、次いで「名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」28.3%、「名前も内容も知っている」21.1%の順となっています。



問43 あなたは障がいのある人の地域活動や就職などの社会参加について、一般的に理解が深まってきていると思いますか。

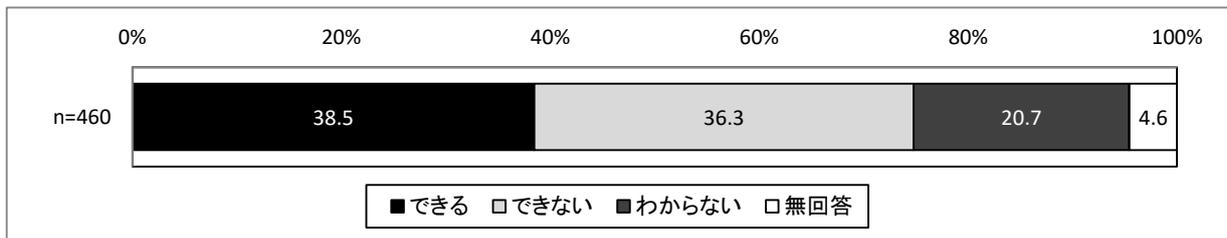
「分からない」が28.5%で最も多く、次いで「まあまあ理解がある」17.6%、「あまり理解がない」16.7%の順となっています。



災害時の避難等について

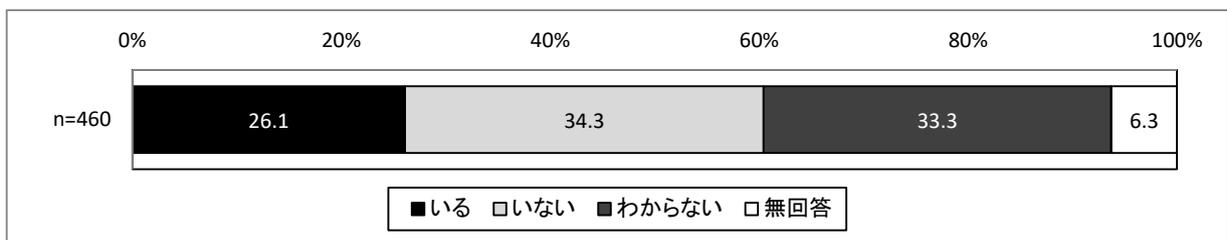
問44 あなたは、火事や地震等の災害時に一人で避難できますか。

「できる」が38.5%で最も多く、次いで「できない」36.3%、「わからない」20.7%の順となっています。



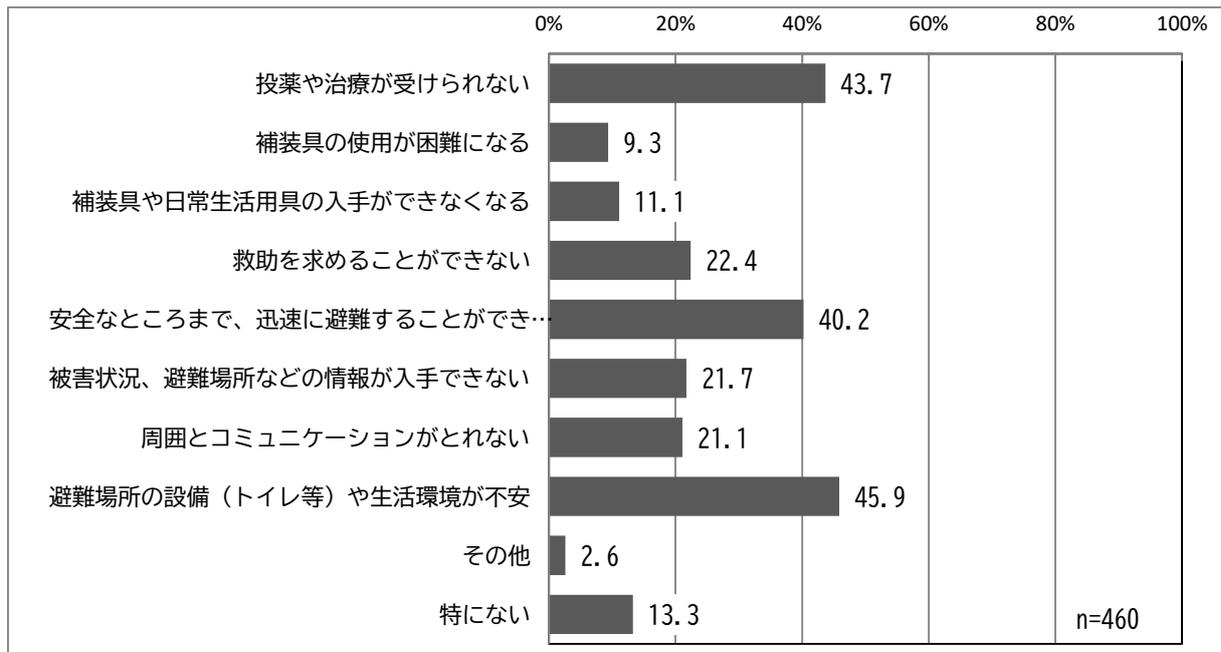
問45 家族が不在の場合や一人暮らしの場合、近所にあなたを助けてくれる人はいますか。

「いない」が34.3%で最も多く、次いで「わからない」33.3%、「いる」26.1%の順となっています。



問46 火事や地震等の災害時に困ることは何ですか。（複数回答）

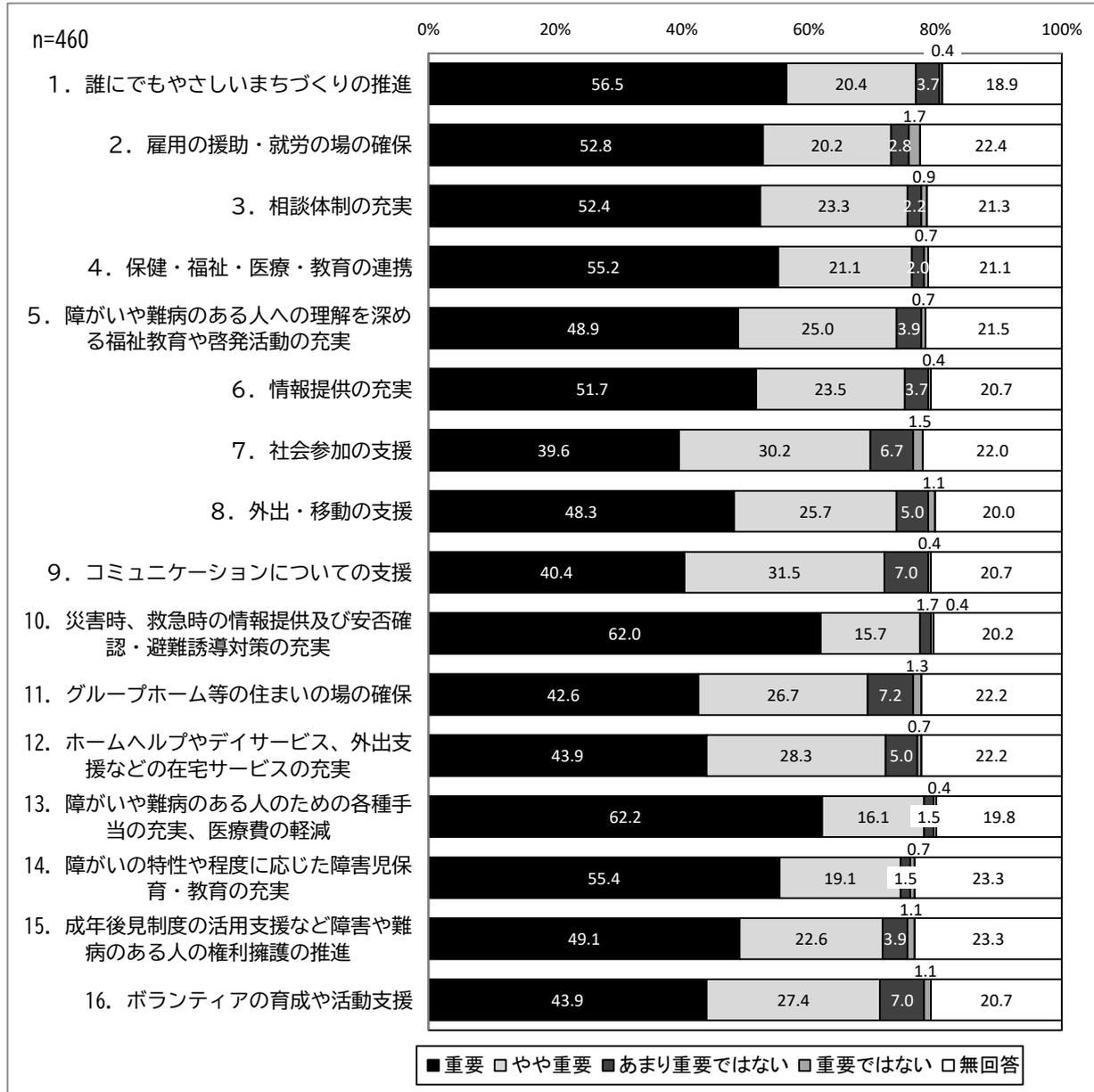
「避難場所の設備（トイレ等）や生活環境が不安」が45.9%で最も多く、次いで「投薬や治療が受けられない」43.7%、「安全なところまで、迅速に避難することができない」40.2%の順となっています。



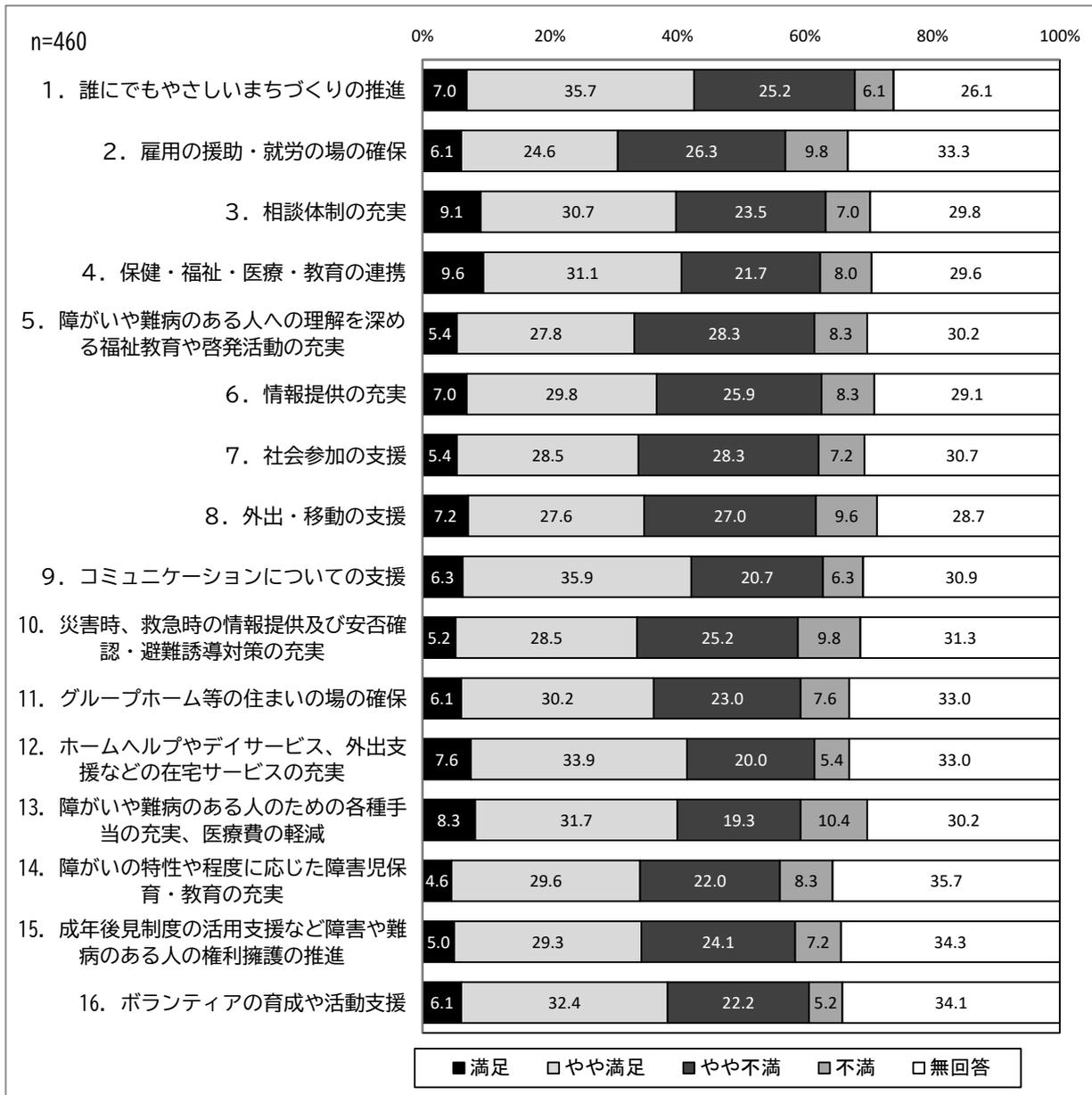
障害福祉施策等について

問47 今後、障害福祉を推進するうえで、どのようなことが重要だと思いますか。以下の項目について、今後の重要度と現在の満足度を教えて下さい。

今後の重要度



現在の満足度



調査総括

1 ご本人の状況などについて

アンケート調査の記入者を見ると、「本人による回答」が6割近くとなっていますが、「本人の家族」、「家族以外の介助者」とした本人以外の回答も3割以上みられます。

アンケート調査の対象者の年齢は、65歳以上の高齢者が半数近くを占めています。

性別では「男性」52.2%、「女性」46.7%と男性の方が多くなっています。

日常生活において必要な支援（一部支援が必要+全部支援が必要）では、「外出の介助」が41.5%と最も多くなっており、次いで「お金の管理」39.8%となっています。

支援してくれる家族の年齢は65歳以上の高齢者の割合が4割以上となっています。また、支援者の健康状態に関しては、「ふつう」が6割を占めるものの、「よくない」も1割程度みられることから、高齢や健康状態のよくない介助者を援助するためにも障がい福祉サービスの利用促進が必要です。

2 あなたの障がいの状況について

障害手帳所持者の状況では、「身体障害者手帳」が69.7%、「愛護（療育）手帳」が21.5%、「精神障害者保健福祉手帳」が18.7%となっています。

難病の認定を受けている人は5.7%、発達障害として診断されたことがある人は11.5%、強度行動障害として診断されたことがある人は2.8%、高次脳機能障害として診断されたことがある人は4.6%となっています。

3 住まいや暮らしについて

現在の暮らしでは、「家族と暮らしている」が7割以上を占めますが、「一人暮らし」と回答した方も1割強みられます。

現在暮らしている場所では、「一般の住宅」が8割以上と最も多く、今後暮らしたい場所でも「一般の住宅」が8割以上と最も多くなっています。

希望する暮らしを送るために必要な支援では、「経済的な負担の軽減」が最も多く、次いで「必要な在宅サービスが適切に利用できること」となっています。

4 日中活動や就労について

外出の頻度では、「1週間に数回外出する」が42.2%で最も多く、次いで「毎日外出する」36.1%と外出する方が多くなっていますが、「めったに外出しない」や「まったく外出しない」も2割近くみられます。外出の目的では、「買い物に行く」が62.1%、「医療機関への受診」が56.8%と多くなっています。外出時に困ることでは、「公共交通機関が少ない（ない）」28.8%、「困った時にどうすればいいのか心配」21.6%、「外出にお金がかかる」18.9%などが多くなっています。

日中の過ごし方では、「自宅で過ごしている」が最も多く、次いで「会社勤めや、自営業、家業などで収入を得る仕事をしている」などの割合が多くなっています。

収入を得る仕事をしている方は19.6%となっており、勤務形態は「パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員」が32.2%で最も多く、次いで「自営業、農林水産業など」31.1%となっています。

障害者の就労支援として必要だと思うことでは、「職場の障害者理解」が37.0%で最も多く、次いで「職場の上司や同僚に障がいの理解があること」35.9%、「通勤手段の確保」「勤務時間や日数が体調に合わせて変更できること」31.1%と多くなっていることから、障害を理解していただくために周知を図る必要があります。

5 相談相手について

悩みや困ったことの相談先では、「家族・親せき」が7割以上と多くなっており、次いで「かかりつけの医師や看護師」が2割程度となっています。

障害のことや福祉サービスなどに関する情報の入手先では、「家族や親せき、友人、知人」が30.9%で最も多く、次いで「本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース」28.9%、「行政機関の広報誌」24.3%の順となっています。

6 障害福祉サービス等の利用について

障害支援区分の認定を受けている方は、12.9%と少なくなっています。

現在利用しているサービスでは、「計画相談支援」、「就労継続支援（A型、B型）」、「生活介護」の割合が多く、今後3年間で利用したいサービスでは、「計画相談支援」、「施設入所支援」、「就労継続支援（A型、B型）」の割合が多くなっています。

7 権利擁護について

障がいによる差別や嫌な思いをしたことがある経験は、「ある」が17.2%、「少しある」が19.6%となっています。また、差別や嫌な思いをしたことがある場所では、「外出中」が40.8%で最も多く、次いで「学校・仕事場」39.1%の順となっています。

成年後見制度の認知状況では、「名前も内容も知らない」「名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」をあわせた「内容を知らない」とした回答は63.5%となっています。障害者への偏見や差別をなくすため、障害者への理解の促進を踏まえた広報啓発を推進するとともに、成年後見制度に関する広報啓発も行う必要があります。

8 災害時の避難等について

災害時の避難に関しては、「一人でできる」の38.5%に対し、「一人でできない」も36.3%と同数程度です。避難行動要支援者名簿の登録や個別避難計画の策定を通して個々の災害時の避難方法の確認や地域の支援体制の強化など、地域の防災力を高める取り組みを進めることが重要です。

災害時に困ることでは、「避難場所の設備（トイレ等）や生活環境が不安」、「投薬や治療が受けられない」、「安全なところまで、迅速に避難することができない」の意見も多くなっていることなどから、障害者に配慮した災害対策が求められています。

9 障害福祉施策等について

障害福祉を推進するうえで、今後重要だと思われる施策では、「障がいや難病のある人のための各種手当の充実、医療費の軽減」が78.3%で最も多く、次いで「災害時、救急時の情報提供及び安否確認・避難誘導対策の充実」77.7%、「誰にでもやさしいまちづくりの推進」76.9%の順となっています。

一方、現在の満足度が高い施策では、「誰にでもやさしいまちづくりの推進」が42.7%で最も多く、次いで「コミュニケーションについての支援」42.2%、「ホームヘルプやデイサービス、外出支援などの在宅サービスの充実」41.5%の順となっています。